



## Conseil Mondial de la Famille Marianiste

Via Latina 22, 00179 Roma, Italia – [www.marianist.org](http://www.marianist.org)  
Tel (+39) 06 70 47 58 92 -- FAX (+39) 06 7000 406

## World Council of the Marianist Family Consejo Mundial de la Familia Marianista

2013年11月1日、ローマ

### マリアニスト家族の皆様

### 2013年マリアニスト家族世界評議会の報告

マリアニスト家族世界評議会（WCMF）は、10月30日～11月1日、ローマで開催されました。私たちは家族として集い、対話し、祈り、分かち合う機会を持って嬉しく思いました。四つの枝の代表がこの会議に参加しましたが、アリアンス・マリアルの総責任者、クリスチャンヌ・バルボー氏は健康の理由で残念ながら参加できませんでした。しかし、彼女の代理として補佐の一人が参加しました。クリスチャンヌ氏の早い回復を心から願います。私たちの会議は諸聖人の祝日に終わりましたが、そのことは、“私たちは生活するあらゆる場で、今日、福音は時宜にかなっているということ”を証しする聖者の民でなければならない”というシャミナード師とメール・アデールの強い願いを思い起こさせます。

### 家族のニュース

信徒マリアニスト共同体は、2014年1月26日～2月2日、ペルーのリマで開催される国際会議（総会）を準備しています。この会議のテーマは「世界の中心で、心の信仰を生きる」です。この会議で、現在の国際執行部のチームはその任期を終わります。彼らが私たち皆のために捧げてくれた奉仕に対して深く感謝いたします。この会議は世界の全てのMLCにとって重要な出来事です。私たちはこの会議の成功のため、また、現在のリーダーとこれからMLCリーダーになる方々のために祈っています。

アリアンス・マリアルは、今年（2013年）、6カ月の準備と6カ月の会合を経て、総会を開催しました。ご訪問のマリアは、AMのメンバーが自分たち自身の訪問の小道を確認するのを助けながら、振り返りの時期全体を通して彼らに同伴しました。ごく当然に、ご訪問の記念日である5月31日はアリアンス・マリアルの保護の聖人の祝日と定められました。AMのメンバーは、女性として、マリアニストとして、また奉獻された信徒として、マリアを自分たちの召命のモデルとして仰ぎます。総会の終わりに選挙がおこなわれ、総評議員会のメンバーは北米、南米、アフリカ、ヨーロッパから

選ばれ、これまでよりも世界の大陸を代表する評議員会となりました。AM は全マリアニスト家族の祈りに支えられていると感じました。会員たちは心から感謝を捧げたいと望んでいます。

**汚れなきマリア会**は、召命司牧の仕事と同様に、修道会の生活のなかでの養成の重要性を強調しています。FMI のシスターたちはトーゴでの 50 年、コートジボアールでの 25 年を祝いました。そしてこの機会に、アフリカ地区が創設されました。これまで国際的な共同体によって運営されてきたアジャンの共同体は、マリアニスト・カリスマの黙想と養成のセンターとしての特別な使命を帯びて、2014 年 1 月に総本部の責任の下に置かれることになります。

**マリア会**は、この一年、良い時と苦痛の時を過ごしました。苦痛の時というのは、二人のブラザー、Chevalier と Richard の悲劇的な死を受けてのハイチからの撤退、またフィリピンとネパールからの撤退です。ブラザーたちの存在と働きによってこれらの地域に蒔かれた種が成長し続けますように。良い時というのは、総会に引き続き、養成、再組織、および事業体のマリアニスト・アイデンティティの強化に関する大きなプロジェクトを履行しつつあることです。また「マリアニスト的なリーダーシップの主要な特徴」についての新しい文書が出版されたばかりで、私たちのミッションのこの重要な部分において私たちのそれぞれの枝を活気づけてくれると期待されています。

## 最近の出来事、これからの出来事への招き

2016 年～2017 年に、FMI と SM はそれぞれ**創立 200 周年**を祝います。二つの総本部はこの出来事を祝うための計画を進展させるために委員会を設定しました。更なるインフォメーションはこれから発表されるでしょう。

**創立者たちの列福・列聖調査**は進展しています。メール・アデルの列福調査は、イタリアのノヴァラ (Novara) 教区における教区の奇跡認定プロセスの開始をもって、新しい段階に入っています。シャミナード師の列聖調査は少しづつ前進しており、多くの希望を高めてきました。

**各大陸のマリアニスト養成センター所長の集い**が 2014 年 1 月にフィラデルフィアで開催され、国際マリアニスト養成センターの所長、Bro. Jack Ventura によってリードされます。このことは、各大陸の養成センターの支持を受けて、全マリアニスト家族を通してマリアニスト・カリスマに関する研究と養成を強化したいという私たちの強い願いを示しています。今回の世界評議員会の期間中、Bro. Jack が私たちと共に参加してくれたことに感謝いたします。

お告げの祝日に、私たちは過去二年間、マリアニスト召命を強調してきました。私たちは、この祝日をこれから**マリアニスト家族の日**とし、この日が**家族の保護の聖人の祝日**となることを決定しました。この日は、マリアの喜びに満ちた熱烈な返答に支えられる祝日、教会におけるマリアニスト召命を神に感謝する機会となります。この祝日を祝うためのガイドラインは、毎年、各枝の一つから皆様に送られます。

**世界マリアニスト祈りの日**は、今年、日本のマリアニスト家族の兄弟たちと共に祝われました。この祈りの日は長崎の“被爆マリア小聖堂”を中心に行なわれ、日本のキリスト教の歴史にとって、また世界平和のための祈りにとって非常に意義深いこの場所に鼓舞された、素晴らしい祈りの機会となりました。日本のマリアニスト家族によって私たちのためになされた準備に対して、心から感謝いたします。来年、私たちはこの祈りの日を 10 月 12 日にアルゼンチンのマリアニスト家族と共に祝います。

ホセ・マリア・アルナイス師が**マリアニスト家族世界評議会**に一つの**提案**をなさいました。その提案は、私たちの四つの枝間の構造的な絆と同様に、生活とミッションに関する私たちの共通の体験を強化したらどうか、と私たちを招くものです。私たちはこの刺激的な提案が気に入りました。これを考察することが重要だと信じます。とはいえ、私たちは、これらの体験の強化は先ず私たちの様々な共同体が位置している土地で体験される必要がある、と考えます。これらの体験の結果を観察し、それらについて識別してから、更なる前進が、特に国際的なレベルでなされるでしょう。

**マリアニスト家族としての存在をアピールするプロジェクト**がペルーで準備されています。この国にはいないのですが、FMI のシスター方がこのプロジェクトを始めました；彼女らは他のマリアニストの枝と共にこのプロジェクトを組織しつつあるのです。これは二週間にわたって生活と使徒職を分かち合う体験で、一緒に作り上げたマリアニスト召命の紹介を含んでいます。

**Friday Magnificat** の利用を私たちは引き続きお勧めします。毎月アップされるこのインターネット上の会報は、マリアニスト家族が世界中で実践している社会活動に気づくように、またマリアと共にそれらの活動を神に感謝するように、私たちに呼びかけています。

マリアニスト家族世界評議会は過去四年間の目標を評価し、それらを継続して、**次の四年間の目標**を設定しました。それらの目標はこの報告の付録として提示されます。すべての家族評議会と世界中の各枝の評議員会が、これらのガイドラインを私たち皆のインスピレーションと交わりの源として考慮するよう、お勧めします。

Sr. フランカー・ゾンタ  
マリアニスト家族世界評議会議長  
2013 年 12 月 19 日